

2015-B

拠出金・基金の  
名称

国連テロ対策センター拠出金（身代金目的誘拐対策事業）

種 別

イヤーマーク      ノン・イヤーマーク

【拠出先の国際機関名】国際連合テロ対策センター（United Nations Counter-Terrorism Centre）

【所管官庁担当局課・室名】外務省総合外交政策局国際安全・治安対策協力室

【当該任意拠出金の目的・用途等】

テロリストが、身代金目的誘拐行為を通じて資金調達を行うことを防止するため、北アフリカ諸国（アルジェリア、エジプト、リビア、モロッコ、スーダン、チュニジア等）の身代金目的誘拐行為への対応能力が向上するよう、身代金を支払うことなく人質を安全に奪還するためのベスト・プラクティスの共有を目的としたワークショップを開催（我が国拠出金はカイロ、アルジェ、ラバトでのワークショップ開催に使用）するほか、能力向上支援に関する訓練、各国・各組織の取組や知見をとりまとめた報告書の作成・共有を行う。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千 )	レ ー ト	ODA率(%)
平成27年度	24,871	226		1米ドル = 110円	100
平成26年度	-	-		-	-
平成25年度	-	-		-	-

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

国連テロ対策センター（UNCCT）は、国連による国際テロ対策における協力の促進、テロ対策のベスト・プラクティスに関する啓蒙・能力開発のためのワークショップ・会議の開催等を担当する機関である。中東・北アフリカ地域におけるテロリストによる誘拐事案では、我が国国民も被害者となっている中、UNCCTを通じてこれら地域の政府当局等の対応能力を向上させることは、邦人保護の観点から、重要である。